

政策・施策・事業整理票

研究振興局

政策

政策目標	8 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化(旧 8 基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備)
概要	科学技術イノベーションを支える人材の質向上と能力発揮を促すとともに、イノベーションの源である多様で卓越した知を生み出す基盤を強化する。



施策

※平成29年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	8-2 イノベーションの源泉としての学術研究と基礎研究の推進(旧 8-1 学術研究の振興)
施策の概要	持続的なイノベーションの創出のためには、 <u>イノベーションの源である多様で卓越した知を生み出す基盤の強化</u> が不可欠である。学術研究・基礎研究は、イノベーションの源泉たるシーズを生み出すとともに、新しい知的・文化的価値を創造し、社会の発展に寄与するものであるため、 <u>学術研究・基礎研究を長期的視点の下で推進</u> する。
達成目標1	学術研究に関する科学研究費助成事業(科研費)について、人文学・社会科学から自然科学までのあらゆる研究分野への幅広い助成を行うとともに、挑戦性、総合性、融合性及び国際性の観点から、制度の改革を着実に進めることにより、優れた研究成果の創出に寄与する。また、研究成果の持続的創出のための競争的研究費改革を着実に進める。 【経済・財政アクション・プログラム(以下、AP)に挙げられた取組に関連する達成目標】
達成目標2	<u>我が国の研究力強化を促進するため、大学・大学共同利用機関における共同利用・共同研究体制等を活用した独創的・先端的研究の推進や研究環境の整備を行う</u> とともに、世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強する。
達成目標3	高いレベルの研究者を中核とした研究拠点の形成を目指す構想に集中的な支援を行い、システム改革の導入等を促すことにより、世界第一線の研究者が集まってくるような、優れた研究環境と高い研究水準を誇る「目に見える拠点」の構築を目指す。



事業

※平成29年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	特色ある共同研究拠点の整備の推進事業		
事業の目的	従来にない <u>特色ある研究分野において</u> 、優れた学術資料、研究設備等を有する潜在的研究力の高い <u>公私立大学の研究所等の研究資源を、大学の枠を越えて研究者の共同利用・共同研究に活用することを通じて</u> 、研究分野全体の研究水準の向上と異分野融合による新たな学問領域の創出を図り、 <u>我が国の学術研究の発展を目指す</u> 。		
事業概要	文部科学大臣の認定を受けた <u>公私立大学の共同利用・共同研究拠点を対象に、拠点としての研究環境の整備に係るスタートアップのための支援、及び拠点機能の更なる強化を図る取組について支援を行う</u> 。事業の実施に当たっては、拠点の認定を受けた大学を対象に公募を行い、外部有識者委員会において審査を実施して採択拠点を決定している。 補助率:定額		
アウトカム	①	定量的な成果目標	<u>公私立大学における多様な共同利用・共同研究の成果の産出</u>
		成果指標	<u>公私立大学の共同利用・共同研究拠点における論文数</u> ※実績は、次年度の6月末に集計 ※目標値は前年度実績より増となるよう設定
	②	定量的な成果目標	<u>公私立大学における共同研究者数の増</u>
		成果指標	<u>公私立大学の共同利用・共同研究拠点における共同利用・共同研究者数</u> ※実績は、次年度の6月末に集計 ※目標値は前年度実績より増となるよう設定
アウトプット	(1)	<u>公私立大学の共同利用・共同研究拠点の認定数</u>	
	(2)	<u>支援を行った公私立大学の共同利用・共同研究拠点数</u>	
本事業の成果と上位施策との関係	本事業により、 <u>公私立大学の特色ある共同利用・共同研究拠点が形成され、共同利用・共同研究者数の増</u> 、さらには、 <u>拠点の研究活動を通じて得られた論文数の増による多様な研究成果が産出</u> されることで、 <u>我が国の科学技術イノベーションの源泉となる学術研究と基礎研究の推進に寄与する</u> 。		